

修士論文（要旨）

2022年1月

中国における少数民族の高齢者の余暇活動に関する考察  
—寧夏回族自治区の高齢者の余暇活動を事例として—

指導 中谷 陽明 教授

老年学研究科

老年学専攻

220J6010

傅 逸

Master's Thesis(Abstract)  
January 2022

Leisure Activities for the minority elderly in China: Case of Ningxia Hui Nationality  
Autonomous Region in China

Yi Fu

220J6010

Master's Program in Gerontology

Graduate School of Gerontology

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yomei Nakatani

# 目次

はじめに .....	1
1. 研究背景と問題意識 .....	1
2. 研究目的と研究意義 .....	2
3. 論文構成と研究方法 .....	2
第一章 中国における高齢者の余暇活動に関する先行研究 .....	3
1. 中国における高齢化の現状 .....	3
2. 中国における高齢者の余暇活動の現状 .....	4
3. 寧夏回族自治区における高齢者の余暇活動 .....	8
第二章 寧夏省保伏橋回族社区における調査 .....	10
1. 保伏橋回族社区の概況 .....	10
2. 保伏橋回族社区の高齢者に対するアンケート調査 .....	10
1) 調査の概要 .....	10
2) 調査結果と分析 .....	11
3. 保伏橋回族社区の高齢者に対するインタビュー調査 .....	19
1) 調査の概要 .....	19
2) 調査結果と分析 .....	19
第三章 考察 .....	26
おわりに .....	28
謝辞 .....	29
参考文献 .....	I
付属資料 .....	III

## はじめに

中国 2021 年第七回人口調査データによると、現在の中国の総人口は 14 億 4350 万人で、65 歳以上の人口は 1 億 9064 万人で、13.50%を占めている。漢民族の人口は 12 億 8631 万人で、91.11%を占めている。各少数民族の人口は 1 億 2547 万人で、8.89%を占めている。

内閣府の国民生活審議会では「余暇」について、「人が自由に自らの活動を選択することのできる時間の枠組み」と定義している。高齢者に対する、良い生活品質を目指すために、どのような老後生活を過ごしあるいはどのような余暇活動に参加すべきかについて極めて重要なのである。高齢者の余暇生活は重要な課題であるにもかかわらず、少数民族高齢者の余暇活動に対する重要な影響要因を行うに関する研究を論じていなかった。

本研究の目的は、少数民族（寧夏回族）居住地区において、少数民族の高齢者と多数民族（漢族）の高齢者の余暇活動の実態とその関連要因を探索することである。本調査によって、とくに少数民族高齢者の余暇活動充実への取り組みに対して、有益な示唆を得ることが期待される。

## 対象と方法

### 1. 調査対象

寧夏回族自治区銀川市保伏橋社区に居住する高齢者 200 人であった。  
(漢族と回族各 100 人, 総計 200 人)

### 2. 調査方法

保伏橋社区に居住している漢族高齢者と回族高齢者を対象として、アンケートによる調査とインタビューによる調査を実施する。

#### 1) アンケート調査

アンケート調査では、余暇活動の実態と属性等をはじめとする余暇活動に関連する要因をたずねる項目を設定する。

#### 2) インタビュー調査

インタビュー内容の概要は、基本的属性、余暇活動の参加の状況、余暇活動への考え方および満足度など。

### 3. 倫理的配慮

倫理的配慮として桜美林大学研究活動倫理審査委員会の承認(番号 21025)を得た。

## 結果

余暇活動の参加を妨げる主な要因は家事が多いことと余暇を提供する組織がないことが明らかになった。この二つの要因以外、回族の高齢者にとって、経済的に裕福ではないことも主な要因であることがわかった。

その上、その二つの主な要因をより深く分析すると、民族男女問わず、家事が多いということは高齢者の余暇活動の参加を妨げる肝心な要因であることが分かった。漢族と比べ、夫婦二人暮らしをしている65歳以上の高齢者の回族は家事に困ることが比較的にないことがわかった。それに、漢族と比べ、夫婦二人暮らしをしている60-65歳の高齢者の回族は開催された活動が少ない悩みが比較的にないことがわかった。だが、子供と一緒に住んでいる高齢者にとっては、家事の分担があったり、子供と一緒に活動に参加できたりし、余暇活動の参加に妨げる程度は比較的に低いことが導き出せる。

## 考察

本研究では、性別・年齢層・民族などの要素を考慮したうえで、実証調査を行い、結論として性別と関係なく、家事労働が多いことは余暇活動を阻害する一つの要因であり、また、高齢者の場合、男女民族問わず家事が多いことは、とりわけ高齢者たちの余暇活動を阻害することがわかった。さらに、回族の高齢者にとって、家事が多いことは第一位の要因となっている。

家事労働が多いという原因以外に、「余暇を提供する組織がない」の要因が挙げられるという結論に達した。経済的状況の配慮から見ると、漢族の高齢者たちは回族の高齢者よりも比較的に経済的余裕があり、彼らの余暇活動の範囲もより幅広くなっている。また回族たちの文化的特徴を活用できるような余暇イベントの開催が必要だと考える。余暇活動イベントの参加者として漢族・回族の両方が挙げられるため、そうしたイベントにおける回族の文化的特徴、とりわけ宗教や伝統文化の活用が望ましいと考える。

家事負担の増加、体が不自由など的高齢者の場合はいかに余暇活動に参加できるか、という点が極めて重要である。また、地方政府による独居・夫婦共住高齢者（子供がそばにいない場合）に公的扶助や無料の介護業務を提供する必要がある、また体の不自由な方にも介護業務を提供し、彼らでも気軽に余暇活動に参加できるようにバリアフリーを進めていく必要があると考える。

## 参考文献

中国国家统计局ホームページ

<http://www.stats.gov.cn/ztjc/zdtjgz/zgrkpc/dqcrkpc/index.html>

周金蘭 (2015)「中国における高齢化の現状と高齢者対策」、現代社会文化研究. No. 61

包敏 (2006)「中国農村部と都市における高齢者扶養の変化」『広島国際大学医療福祉学科紀要』2, 21-33

林鑫・大山さく子 (2013)『中国における高齢者に対する在宅サービスの現状「～上海市を中心として～」』仙台大学大学院スポーツ科学研究科修士論文集 Vol. 14. 3

張承志 (1991)「回教から見た中国」. 中央公論出版社

呂昭河 (2014)「人口センサスに基づく中国の少数民族の比較研究－漢族と少数民族－」. 25 卷 3 号 p. 25-36

Dumazedier (1967) *Toward a Society of Leisure*. [M]. New York : Free Press.

Glei (2005) Participation in social helps preserve cognitive function : an analysis of a longitudinal, population-based study of the ). *International of Epideminology*, 34 (3) :864-871.